

## 2012 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 14:50～15:50 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。



I 次の「先生と生徒A、Bとの会話」について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

先生「歴史研究は日々研究が進み、次々に新しいことがわかってきているよ。君たちが教科書で学習しているのは、現時点での定説だ。歴史自体は過去のことなのだからわからないことが多いのは当然だが、様々な史料の解読や新しい遺跡の発見などの研究成果によって、だんだんと明らかになっていることが多いという意味と、すでに定説化されている史実についても絶えず検証することで新たな見方が生じ、解釈が異なってくるという2つの面があるよ。また歴史研究以外の分野での研究の進展により歴史的解釈に変化が生じる可能性もあるよね。古い時代で言えば氷河期には日本列島は大陸と陸続きだったと言われていたが、近年の地質学的研究<sup>①</sup>では少なくとも現世人類が日本列島にわたってきた最終氷期においては対馬海峡・津軽海峡は陸続きではなかったという研究者もいるね。また、考古学的調査から氷河期の終わらないうちに日本列島の中で土器が出現していた可能性が高まってきたなど、旧石器時代から縄文時代にかけてのイメージも変わりつつあるよ。」

生徒A「なるほど。例えば、どのようなことが明らかになりつつあるの?」

先生「自然科学的方法を用いた近年の考古学の進展もあって、古い時代ほどいろいろなことがわかってきているね。例えば、石器の使用<sup>②</sup>についてみると、多くの教科書には  時代に  石器がおもに用いられていたのが、 時代になって  石器が使われるようになったとある。実際には  時代の遺跡の3万年以上前の地層から局部的ながら  石器の特徴をもった石斧がみつまっているよ。」

生徒A「自然科学的方法と言えば、弥生時代は水稲耕作とともに開始<sup>③</sup>とされているけど、その始まりに関する年代測定の話しも聞いたことがあるよ。」

生徒B「私は古墳が好きで大阪にある日本一大きい  古墳を見に行きました。」

先生「古墳時代についても見直しが進んでいるよ。 古墳は仁徳天皇陵とされているよね。天皇陵は宮内庁が管轄しており研究者による調査は制限されているけれど、墳丘から考えると実際には仁徳天皇陵ではないとする説もあるんだ。<sup>④</sup>また、古墳時代に作られる硬質の焼き物である  は5世紀に朝鮮半島から製法が伝わったとされているが、京都府宇治市街地遺跡などでの新発見により、

4世紀終わり頃に伝わっていた可能性も出てきたんだ。」

生徒A「奈良には遺跡がいっぱいあるよね。お寺に関する発見もあるの？」

先生「仏教が伝来したころの寺院についても、1939年の発掘で伽藍配置が明らかになった厩戸王が建立したと伝えられる寺院<sup>⑤</sup>では、発掘の成果で再建・非再建論争に決着がついた。しかしながら、百済の技術で建てられたとの記録があるものの伽藍配置の系譜はよくわからないんだ。朝鮮半島で最近の発掘により明らかになってきた定林寺式などの伽藍配置との関連や違いが注目されているよ。」

生徒B「先史時代だけでなく古代でも新しい発見がたくさんあるね。新たな史実が年々発見されたり、確認されたりしているということだよ。」

先生「近年の発掘調査により、幅が6mを超えるような直線的に構築された東山道<sup>⑥</sup>など官道の遺構が各地で発見されるなど、ますます古代の実情が明らかになってきていると思うね。例えば滋賀県宮町遺跡がそこから出土した建物柱材の年輪年代法<sup>⑦</sup>によって判明した構築年代から紫香楽宮と確認された例もあるよ。」

問1 下線部①について、そのころの時代（氷河時代ともよばれる）は地質学的には何といわれているか。

問2 下線部②について、日本の先史時代に石器の原材料に多く用いられている、長野県和田峠などで産出されるガラス質火山岩の石材を何というか。

問3 文中の空欄A～Dに入る語とB、Dの遺物の写真の組み合わせで、正しいものを選び、その記号をマークしなさい。

ア. A—旧石器 B—打製（写真b） C—縄文 D—磨製（写真d）

イ. A—先土器 B—打製（写真a） C—縄文 D—磨製（写真c）

ウ. A—旧石器 B—粗製（写真a） C—新石器 D—精製（写真d）

エ. A—岩宿 B—打製（写真a） C—弥生 D—磨製（写真d）

オ. A—旧石器 B—粗製（写真b） C—弥生 D—精製（写真d）



a



b



c



d

問4 下線部③について、日本列島の稲作の始まりに関して、最も適切な文章を選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 水稲耕作は前2世紀に伝播し、5世紀には北海道まで日本列島全体に広がる。ただし炭素14年代測定から前10世紀より古く始まるとの説もある。
- イ. 弥生時代のはじめに大陸から水稲耕作とともに青銅器・鉄器が、朝鮮半島および中国南部から海洋ルートで九州北部、さらに現在の沿海州から出雲地方や能登半島など日本海側へ複数のルートによってもたらされた。
- ウ. 最古の水田は、福岡県の板付遺跡の水田遺構で、縄文時代後期の土器や木製農具を作成した石包丁石器とともに水田の畦が発見された。
- エ. 縄文時代にもグイズなどマメ類やエゴマ、ヒョウタンなどの焼畑による栽培が行われていた。さらに縄文土器についていたコメの痕跡から縄文時代に水田があった可能性が指摘されている。
- オ. 弥生時代には環濠集落や高地性集落がつけられた。環濠集落としては福岡県板付遺跡、奈良県唐古・鍵遺跡が挙げられる。

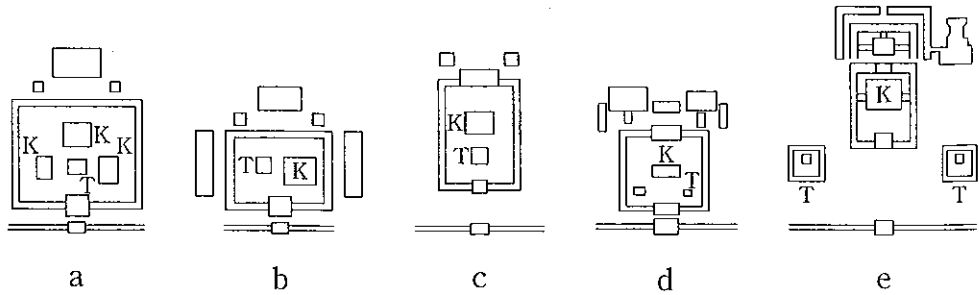
問5 空欄Eに入る、仁徳天皇陵とされている古墳の名称を記しなさい。

問6 下線部④について、さまざまな墳丘の説明として最も適切な文章を選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 弥生時代の墓にも墳丘を持つものがあり、中央に大きな墳丘を構築した九州地方の弥生時代中期の方形周溝墓は、四隅突出墳丘墓と呼ばれる。
- イ. 古墳の成立期には、円墳に台形状の張出し部を持つ奈良県楯築墳丘墓など纏向型古墳と呼ばれる墳丘があり、大阪府箸墓古墳につながる。
- ウ. 「辛丑年」銘の鉄剣が出土した埼玉県稲荷山古墳は前方後方墳である。前方後方墳は、古墳時代前期より東日本を中心に分布する墳丘である。
- エ. 前方後円墳は、岡山県造山古墳、兵庫県五色塚古墳、群馬県太田天神山古墳など鹿児島県から岩手県に見られ、朝鮮半島南部でも発見された。
- オ. 終末期古墳では、齊明天皇陵の可能性のある奈良県牽牛子塚古墳が八角形墳、大王座像の竪穴式石室壁画をもつキトラ古墳が上円下方墳である。

問7 空欄Fに入る語を記しなさい。

問8 下線部⑤について、下の伽藍配置の図の中から、下線部⑤が述べている寺院の現存している状態での伽藍配置の模式図を選び、その記号を記述解答欄に記しなさい。



T—塔，K—金堂

問9 下線部⑥について、ここで触れられている東山道のように都から地方に延びる整備された官道を何というか。その総称を記しなさい。

問10 下線部⑦について、その宮は構築の翌年に大仏造立の詔が出されたことで有名である。その宮が構築されたのは何年のことか。西暦で答えなさい。

II 次の文章1から3について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 587年、大臣蘇我馬子は大連 A を滅ぼすと、592年には崇峻天皇を暗殺し、姪にあたる推古を即位させて政治権力をにぎった。馬子は、推古天皇の甥の厩戸王（聖徳太子）らと協力して国家組織の形成を進め、倭の五王以来の中国（隋）への外交活動を再開した。600年に最初の遣隋使を派遣し（『隋書』倭国伝）、607年には小野妹子らを派遣した。この時の国書は「日出ずる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙なきや。」云々というもので、隋の煬帝はこれを無礼としながらも、帰国に際しては勅使高表仁<sup>①</sup>を同行させている。隋が経略を進める高句麗を牽制する上で倭国を利用しようという意図によるものである。遣隋使には留学生・学問僧<sup>②</sup>が同行し、中国の制度・思想・文化について新知識を学んだ。彼らは唐代になってから帰国し、大化改新前後の政治に大きな影響をあたえた。

問1 空欄Aに入る人物の姓名を記しなさい。

問2 下線部①の人名について、正しければ○印を、間違っていれば正しい人名を記しなさい。

問3 下線部②について、大化改新に際し、僧旻とともに国博士に任じられた帰国留学生は誰か。その人物の姓名を記しなさい。

2 8世紀のなかば、孝謙天皇の時になると、光明皇太后の支援を受けた藤原仲麻呂が台頭し、757年には橘奈良麻呂によるクーデタ計画を未然に防ぎ、権力を確立した。翌年、淳仁天皇を擁立すると絶頂期を迎え、B の姓名をもらったが、やがて光明皇太后が没し、孝謙上皇が僧道鏡を信任するようになると、危機感をいだいた仲麻呂は764年に道鏡を除くためと称して挙兵したが、敗死した。孝謙上皇<sup>③</sup>が再び皇位について称徳天皇となり、道鏡は765年にはC の地位を得、翌年には法王となって仏教界における権力だけでなく政治権力をもにぎり、僧侶や寺院を優遇する仏教政治を行った。769年には、道鏡を即位させよとする宇佐八幡神の神託が伝えられるというできごともあったが、770年に称徳天皇が死去すると、

道鏡は下野薬師寺に追放された。

問4 空欄Bに入る、藤原仲麻呂が淳仁天皇からもらった姓名を記しなさい。

問5 下線部③のように、退位した天皇が再び天皇位につくことを何というか。

その名称を記しなさい。

問6 空欄Cに入る、道鏡が得た地位は何か。正しい名称を下記の中から一つ選

び、その記号をマークしなさい。

ア. 太政大臣僧正      イ. 太政大臣僧都      ウ. 太政大臣律師

エ. 太政大臣禪師      オ. 太政大臣法師

3 平安時代になると神事・仏事に加えて政務の年中行事化が進み、儀式次第も整えられていった。『内裏式』や『弘仁儀式』『貞観儀式』等が順次編纂され、内裏の建物である  の殿上の間には、年中行事の日取りと要点を列記した「<sup>ねんじゅうぎようじ</sup>年中行事御障子<sup>みしようじ</sup>」<sup>ついたて</sup>とよばれる衝立が置かれ、貴族たちの参考にされた。こうした年中行事をはじめとする儀式次第を先例にしたがって間違いなく行うことも貴族の教養として重視された。10世紀以降盛んになる<sup>④</sup>貴族の日記は、先例ともなる公式行事の式次第を自身のため、さらには子孫に伝えるために記録に残すという性格が強いもので、藤原実資の日記『』は特に有名である。一方儀式次第を詳しく記した書物も数多く作られ、中でも『西宮記』『北山抄』『江家次第』の三書は重視された。

問7 空欄Dに入る、内裏における、天皇が日常居住した建物は何か。その名称を記しなさい。

問8 下線部④について、貴族の日記は、あらかじめ季節や日の吉凶などが書き込まれている暦の余白を利用して記されているものが多い。その暦の名称を記しなさい。

問9 空欄Eに入る日記の名称を記しなさい。

問10 下線部⑤について、『西宮記』の著者は安和の変で失脚した人物である。

該当する人物を下記の中から選び、その記号をマークしなさい。

ア. 源高明      イ. 源順      ウ. 源隆国

エ. 源師房      オ. 源雅信



III 次の史料1から3をよく読んでそれぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。なお、史料の表記は読みやすいように一部改めている。(20点)

#### 史料1

第七十二代、第三十九世、白河院。諱は貞仁、 第一の子。(中略)天下を治おさめたまう給こと十四年、太子にゆずりて尊号あり。世の政まつりごとをはじめて院中にてしらせ給う。(中略)まして此御代には院にて政をきかせ給えば、<sup>①</sup>※しつべい執柄はただ職にそなわりたるばかりになりぬ。されどこれより又ふるきすがたは一変するにや侍けん。執柄世をおこなわれしかど、宣旨・※官符にてこそ天下の事は施行せられしに、此御時より  ・※しつべい庠御下文をおもくせられしによりて、在位の君又位にそなわり給えるばかりなり。(後略)

※執柄…摂政・関白、官符…太政官符、庠御下文…院庠下文

出典：『神皇正統記』  
②

#### 史料2

一、諸国守護人奉行の事

右、右大将家の御時、定め置かるる所は、、謀叛、殺害人つげく付たり、夜討、強盗、山賊、海賊等らの事なり。しかるに近年、代官を郡郷に分ち補し、公事を庄保に充て課し、国司にあらずして国務を妨げ、地頭にあらずして地利を貪る。所行の企て甚だもって無道なり。(後略)

出典：『御成敗式目』(原漢文)  
③

#### 史料3

二十四日。雨降る。赤松、公方を入れ申す。猿樂ありと云々。晩に及び屋形喧嘩出来すと云々。騒動の是非いまだ聞かざるのところ、※三条手て負て帰る。公方の御事は実説ふんみょう分明ならず。赤松の家炎上し、武士東西に馳はせ行く。(後略)

二十五日。晴れ。昨日の儀あらあら聞く。(中略)御後の障子引きあけて、武士数

輩出てすなわち公方を討ち申す。(中略) 所詮、赤松を討たるべき御企て露顕の間、遮って討ち申すと云々。自業自得の果て、無力の事か。將軍かくの如き犬死<sup>ごと</sup>、古来その例を聞かざる事なり。(後略)

※三条…三条実雅

出典：『看聞日記』(原漢文)

問1 空欄Aの人物に関する説明として正しいものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 母は後一条天皇の皇女禎子内親王で、藤原氏と外戚関係がない天皇として政治改革を進めた。
- イ. 度量衡を統一する政策として、柁の大きさを一定にした。この柁は京柁と呼ばれる。
- ウ. 荘園増加の防止あるいは縮小のため、延喜の荘園整理令を發布し、基準に合わない荘園を整理した。
- エ. 荘園整理の実効性を上げるため、記録荘園券契所を設置し、荘園領主から提出された書類を審査した。
- オ. 有職故実に詳しい大江広元を記録荘園券契所の寄人に抜擢するなど、学識にすぐれた人材を登用した。

問2 下線部①の政治が行われた時代の出来事(a～d)を古い順に並べ、その記号を記述解答欄に記しなさい。

- a. 院近臣の争いから合戦が起こり、源義朝と結んだ藤原信頼は藤原通憲(信西)を討ったが、義朝と信頼は平清盛によって滅ぼされた。
- b. 天皇家と摂関家における兄弟の対立が合戦に発展し、敗れた崇徳上皇は配流となり藤原頼長は敗死した。
- c. 権力を強めた平氏に対し、院近臣たちが打倒計画を企てたが、その企ては失敗し藤原成親・俊寛らが処罰された。
- d. 院御所の警護のため北面の武士が組織された。北面の武士に登用された平正盛は源義親を討って武名を上げた。

- 問3 空欄Bには上皇の命令を伝える文書の名称が入る。その名称を漢字2字で記しなさい。
- 問4 下線部②の書物の著者は誰か。その姓名を記しなさい。
- 問5 下線部③の法令は、史料2で「右大将家」と記されている人物以来の先例や、武士社会の道理にもとづいて制定された。「右大将家」に該当する人物の姓名を記しなさい。
- 問6 空欄Cには、天皇・院の御所の警護を国内の御家人につとめさせる任務の名称が入る。その名称を漢字4字で記しなさい。
- 問7 史料2の時期の守護に関する説明としてあてはまるものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 守護は、軍費調達のために国内の年貢の半分を徴収できる半済令をてこにして、領国の支配を強めていった。
  - イ. 守護は、平時には治安維持と警察権の行使にあたり、戦時には国内の御家人を統率した。
  - ウ. 守護は、対立する相手の田地の稲を一方的に刈り取る刈田狼藉という行為を取り締まる権限を与えられた。
  - エ. 守護は、荘園や公領の領主から年貢徴収を請け負う守護請をてこにして、領国の支配を強めていった。
  - オ. 守護は、土地をめぐる紛争について幕府の裁決を強制執行する使節遵行の権限を与えられた。
- 問8 史料3に記されている「公方」と「将軍」は同じ人物を指している。該当する人物の姓名を記しなさい。
- 問9 史料3の「将軍」は、将軍権力の強化をねらい、対立する鎌倉公方を討った。その事件の名称を記しなさい。

問10 史料3の事件と最も近い時期の出来事を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 明との国交が開かれて勘合を用いた貿易が始まったが、明の皇帝に朝貢するという形を嫌って貿易が中断した。
- イ. 倭寇の活動が活発化したため、朝鮮軍が対馬を倭寇の本拠地と見なして襲撃するという、応永の外寇が起こった。
- ウ. 朝貢形式への反対から中断していた勘合貿易が再開され、約20年ぶりに日本と明との間の国交が回復した。
- エ. 乃而浦・富山浦・塩浦に住む日本人が、与えられていた特権の縮小に不満を抱いて蜂起したが鎮圧されるという、三浦の乱が起こった。
- オ. 勘合貿易の主導権争いがもとで、博多商人と結ぶ大内氏および堺商人と結ぶ細川氏の間で、寧波の乱が起こった。

IV 次の1から3の文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。(20点)

1 1454年に、鎌倉公方足利成氏<sup>しげうじ</sup>が関東管領上杉憲忠を殺害したため、成氏は幕府による追討の対象となった。そのため関東は、成氏を中心とするグループと上杉氏・幕府を中心とするグループに分かれて対立することとなり、戦乱が続いた。この間、成氏は幕府軍の追討から逃れるため下総国の古河に移り、幕府は將軍足利義政の兄弟である政知<sup>まさとも</sup>を派遣して対抗した。しかし、政知は鎌倉に入ることができず、伊豆国に御所を構えたため、A 公方と呼ばれた。その後、関東では約30年にわたって内乱が続いた。1493年には伊勢宗瑞(後の北条早雲)が足利政知の子茶々丸を自刃させて伊豆国に進出し、その後、拠点を相模国の小田原に定めた。そして、北条氏は相模・武蔵両国をはじめ関東の大半を支配する有力な戦国大名に成長した。

問1 下線部①について、この戦乱の名称を記しなさい。

問2 空欄Aに入る地名を記しなさい。

問3 下線部②について、北条氏は後に豊臣秀吉によって滅ぼされる。秀吉の全国統一にとって北条氏の征討(小田原攻め)は重要なことであった。豊臣政権下のできごとで小田原攻めより後のものを次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 後陽成天皇の聚楽第行幸

イ. 秀吉の関白任官

ウ. 刀狩令の発令

エ. 小牧・長久手の戦い

オ. 御前帳・国絵図の徴収

2 江戸幕府3代將軍徳川家光は、徳川秀忠の嫡子として將軍の地位についたが、戦国の余風が残るこの時代にあつて、血筋だけで將軍としての地位が安定するわけではなかった。そのため秀忠から家光への権力移行は必ずしも順調には進まなかった。秀忠が1632年に死去すると、家光は將軍にふさわしいリーダーシップを自ら示さなければならなかった。そこで、まず家光は弟の徳川忠長をはじめ多数の大名を改

易に処するなど強力な大名統制を進めた。さらに1634年の上洛の際には、全国の諸大名らに軍役を賦課して総勢30万人におよぶ軍勢を動員し、将軍権力の大きさを誇示した。他にも、家光は歴代将軍中で最多の9回にわたり日光社参（参詣）を行って、公家・大名をはじめ多くの人々を動員した。1637年から翌年にかけておこった島原の乱では、キリシタンらの一揆勢鎮圧のために九州諸大名らに命じて約12万人の兵力を動員した。このような過程を経て家光は権力を確立し、将軍の地位を安定させていった。

問4 下線部③について、徳川秀忠は将軍職を家光に譲った後も、幕府政治に関与した。その時の秀忠の立場を示す、「前将軍」という意味の呼称を記しなさい。

問5 下線部④について、近世初期には多数の大名が改易されているが、次の中から改易されていない大名を一人選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 本多正純      イ. 松平忠直      ウ. 松平信綱  
エ. 加藤忠広      オ. 松平忠輝

問6 下線部⑤について、この乱の発生当初、九州諸大名は情勢を把握しながらも、1635年に改定された幕府法令の中の「江戸ならびに何国において、たとひ何篇の事これ有るといへども、在国の輩はその処を守り、下知を相待つべきこと」という規定に従ってすぐに行動を起こさず、対応が遅れた。この幕府法令の名称を記しなさい。

問7 家光が行った政策としては鎖国も重要である。幕府は島原の乱がおこるとキリスト教への警戒心をさらに強め、1639年にある国の船の来航を禁止した。該当する国名を次の中から一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. イギリス      イ. ポルトガル      ウ. 中国  
エ. オランダ      オ. スペイン

3 

B
---

 天皇は、その父親である閑院宮<sup>すけひと</sup>典仁親王が禁中並公家諸法度の規定に従って大臣の下に着座していることを不満に感じ、父親に太上天皇の尊号を宣下しようとした。このことを伝えられた老中松平定信ら幕府側は、皇位についての⑥ない人物への尊号宣下は名分を乱すとして反対したが、朝廷側は納得しなかった。

朝廷は公卿の群議をとりまとめて、幕府に再度承認を求めたが、幕府はこれを認めず、の正親町公明らを処分するなどして、朝廷に尊号宣下を断念させた。

問8 空欄Bに入る天皇の名前を記しなさい。

問9 空欄Cに入る語で、朝廷・幕府間の連絡・交渉に当たった公家の役職名を記しなさい。

問10 下線部⑥について、閑院宮家は1710年に幕府が費用を負担して創設された。この時に創設を建議した人物の姓名を記しなさい。

V 次の史料は、第75帝国議会における斎藤隆夫（立憲民政党代議士）の演説（昭和15年2月2日）である。これを読んでそれぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記述解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。選択問題についてはマーク解答用紙の記号をマークしなさい。なお、史料の表記は読みやすいように改めている。（20点）

「いずれの時にあたりましても戦時に当って国民の犠牲は、決して公平なるものではないのであります。即ち一方においては戦場において生命を犠牲に供する、あるいは戦傷を負う、しからざるまでも悪戦苦闘してあらゆる苦<sup>くげん</sup>艱に耐える百万、二百万の軍隊がある。またたとえ戦場の外にありましても、戦時経済の打撃を受けて、これまでの職業を失って社会の裏面に蹴落とされる者もどれだけあるか分らない。しかるに一方を見まするといって、この戦時経済の波に乗って所謂<sup>いんしん</sup>殷賑産業なるものが勃興する。①あるいは「インフレーション」の影響を受けて一攫<sup>いっかく</sup>千金はおろか、実に莫大なる暴利を獲得して、目に余るところの生活状態<sup>さくら</sup>曝け出す者もどれだけあるか分らない。戦時に当ってはやむを得ないことではありますけれども、政府の局にある者は出来る限りこの不公平を調節せねばならぬのであります。

しかるにこの不公平なところの事実を前におきながら、国民に向って精神運動をやる。②国民に向って緊張せよ、忍耐せよと迫る。国民は緊張するに相違ない。忍耐するに相違ない。しかしながら国民に向って犠牲を要求するばかりが政府の能事ではない。これと同時に政府自身においても真剣になり、真面目になって、もって国事に当らねばならぬのではありませぬか。

しかるに歴代の政府は何をなしたか。事変以来歴代の政府は何をなしたか。二年有③半の間において三たび内閣が辞職をする。政局の安定すら得られない。こういうことでどうしてこの国難に当ることが出来るのであるか。畢竟するに政府の首脳部に責任観念が欠けている。身をもって国に尽すところの熱力が足りないからであります。畏れ多くも組閣の大命を拝しながら、立憲の大義を忘れ、国論の趨勢を無視し、国民的基礎を有せず、国政に対して何らの経験もない。しかもその器にあらざる者を拾い集めて弱体内閣を組織する。国民的支持を欠いているから、何ごとにつけても自己の所信を断行するところの決心もなければ勇氣もない。姑息<sup>とうあん</sup>儉安、一日を弥縫<sup>びほう</sup>するところ



の政治をやる。失敗するのは当たり前であります。

こういうことを繰り返している間において事変はますます進んで来る。内外の情勢はいよいよ逼迫して来る。これが現時の状態であるのではありませぬか。これをどうするか、如何に始末をするか、朝野の政治家が考えねばならぬところはここにあるのであります。我々は遡って先輩政治家の跡を追想して見る必要がある。日清戦争はどうか、日清戦争は A 内閣において始められて A 内閣において解決した。日露戦争は B 内閣において始められて B 内閣が解決した。当時 C まで起こりましたけれども、B 公は一身に国家の責任を背負うて、この事変を解決して、④ しかる後に身を退かれたのであります。A 公といい、B 公といい、国に尽すところの先輩政治家はかくのごときものである。しかるに事変以来の内閣は何であるか。外においては十万の将兵が倒れているにかかわらず、内においてこの事変の始末をつけなければならぬところの内閣、出る内閣も出る内閣も輔弼の重責を誤って辞職をする、内閣は辞職をすれば責任は済むかは知れませぬが、事変は解決はしない。護国の英霊は蘇らないのであります。私は⑤ 現内閣が歴代内閣の失政を繰り返すことなかれと要求をしたいのであります。

事変以来我が国民は実に従順であります。言論の圧迫に遭って国民的意思、国民的感情をも披瀝することが出来ない。ことに近年中央地方を通じて、全国に弥漫しておりますところのかの官僚政治の弊害には、悲憤の涙を流しながらも黙々として政府の命令に服従する。⑥ 政府の統制に服従するのは何がためであるか、一つは国を愛するためであります。また一つは政府が⑦ 適当に事変を解決してくれるであろうこれを期待しているがためである。しかるにもし一朝この期待が裏切らるることがあったらばどうであるか、国民心理に及ぼす影響は実に容易ならざるものがある。しかもこのことが、⑦ 国民が選挙し国民を代表し、国民的勢力を中心として解決せらるるならばなお忍ぶべしといえども、事実全く反対の場合が起こったとしたならば、国民は実に失望のどん底に蹴落とされるのであります。国を率いるところの政治家はここに目を着けなければならぬ。」

出典：斎藤隆夫『回顧七十年』

- 問1 下線部①について、満州事変以後国策に協力しつつ、軍需・重化学工業を中心に急成長した財閥を新興財閥という。次に挙げた財閥の中から、新興財閥を一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 川崎      イ. 安田      ウ. 古河      エ. 森      オ. 浅野
- 問2 下線部②について、この運動の高揚を図るために文部省は、戦時下の国民思想教化のテキストを普及させた。その著書名を記しなさい。
- 問3 下線部③について、事変勃発以後辞職した3内閣の総理大臣の姓名を、時期の古い順から記しなさい。
- 問4 空欄Aには内閣総理大臣の名が入る。次のアからオに挙げた項目の中から、Aの人物にかかわる説明としてふさわしくないものを一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 華族令・内閣制度を創設し、初代内閣総理大臣となった。
- イ. 地租増徴など増税案を議会に提出したが、自由党・進歩党の否決で、第三次内閣を総辞職した。
- ウ. 国会開設意見書を左大臣に提出し、国会の早期開設を主張した。
- エ. 日露協商論を唱えた。
- オ. 初代の韓国統監に就任した。
- 問5 空欄Bには内閣総理大臣の名が入る。次のアからオに挙げた項目の中から、Bの人物にかかわる説明としてふさわしくないものを一つ選び、その記号をマークしなさい。
- ア. 帝国在郷軍人会を設立した。
- イ. 工場法を公布した。
- ウ. 地方改良運動を推進した。
- エ. 大逆事件を機に無政府・社会主義者を大弾圧した。
- オ. 鉄道国有法を公布した。
- 問6 空欄Cについて、政府はこの事件を鎮定させるため、東京に戒厳令を敷いて軍隊を出動させた。空欄Cに入る事件名を記しなさい。

- 問7 下線部④について、1900年代初期の十数年間、Bの人物とその次の内閣総理大臣とが交互に政権をとる時代が続いた。この時代の名称を漢字2字で記しなさい。
- 問8 下線部⑤について、「現内閣」の総理大臣の姓名を記しなさい。
- 問9 下線部⑥について、1938年、政府は、議会の承認なしに経済と国民生活の全体にわたって統制する権利を得た。その法律の名称を記しなさい。
- 問10 下線部⑦で、斎藤隆夫は普通選挙の必要性を述べている。しかし、この後「現内閣」が崩壊し、新体制運動が推進された。その指導的組織として設立された組織の名称を記しなさい。

